

調査概要

- **調査テーマ** GIGAスクール構想3年目における小・中・高校の学習指導の実態と教員の意識
- **調査時期** 2023年8月末～9月中旬
- **調査対象** 全国の公立の小学校・中学校および国公私立の高等学校の教員

学校段階	調査年	学校			教員		
		発送数	有効回収数	有効回収率 (%)	最大配布数	有効回収数	有効回収率 (%)
小学校	2020年	2,000	450	22.5	12,000	1,218	10.2
	2021年	3,000	737	24.6	18,000	2,125	11.8
	2022年	3,000	932	31.1	18,000	2,884	16.0
	2023年	3,000	943	31.4	18,000	3,012	16.7
中学校	2020年	2,000	733	36.7	12,000	2,151	17.9
	2021年	2,000	719	36.0	12,000	2,264	18.9
	2022年	2,000	769	38.5	12,000	2,413	20.1
	2023年	2,000	777	38.9	12,000	2,450	20.4
高校	2021年	2,000	895	44.8	12,000	3,214	26.8
	2022年	2,000	942	47.1	12,000	3,153	26.3
	2023年	2,000	944	47.2	12,000	3,244	27.0

※2020～2022年は各年に行った同様の調査。p.6以降で経年比較に用いている。

※抽出方法・条件

- ・学校抽出：全国の小学校、中学校、高等学校のリストより、都道府県の教員数に応じた抽出確率で無作為に抽出。
- ・教員抽出：小学校は学級担任をしている教員、中学校は国語・社会・数学・理科・外国語のいずれかを担当している教員、高校は国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語のいずれかを担当している教員を調査対象とした。
校長先生に対して、担当学年、担当教科、年齢、性別を考慮した各学校6名の教員の抽出を依頼した。



- **調査方法** 郵送による依頼：校長先生に対して、1校につき6名の教員に回答いただくよう依頼
WEBによる回答：依頼を受けた教員はWEB画面にアクセスして回答

● 調査項目

《共通》 1人1台端末の導入・利用環境／授業などでのICT機器の活用／1人1台端末（ICT機器）の効果と影響／GIGAスクール構想の実現度／教科の授業方法／外国語の指導と評価／学習履歴の活用／定期試験の内容・回数（中・高校のみ）／児童・生徒の様子／指導観／児童・生徒の資質・能力の育成／指導・組織・仕事に関する意識など

《小・中学校》 宿題／1人1台端末の家庭での活用など

《高校》 探究活動のテーマ・内容／進路指導の実態・課題など

● その他に用いた調査

p.29では、長期的変化をみるために、ベネッセ教育総合研究所「学習指導基本調査」（第5回調査：2010年、第6回調査：2016年）の結果との比較を行っている。この調査の抽出方法・条件は今回の調査と同様であるが、校長先生の依頼を受けた教員が紙のアンケート用紙に回答している点で今回の調査と違いがあり、留意が必要である。

基本属性

※2023年の調査対象者（教員、有効回収数）の構成比率を、横の合計が100%になるように示している。

● 地域 (％)

	北海道	東北	北関東	南関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
小学校	4.1	7.5	10.8	25.5	19.8	12.4	5.6	3.2	11.2
中学校	3.8	7.4	11.8	21.8	16.5	13.1	6.7	3.3	15.6
高校	4.3	7.2	8.9	18.8	20.9	13.3	6.9	4.0	15.5

● 設置区分 (％)

	国立	公立	私立
高校	0.4	75.6	24.0

● 学科 (％)

	普通科	職業学科	その他の 専門学科	総合学科
高校	77.3	12.2	2.9	7.6

※小・中学校は「公立」のみ（p.4参照）。

※「もっとも多く授業を担当している学科」への回答。職業学科は、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の合計。その他の専門学科は、理数、外国語・国際、音楽・美術、体育、探究、その他の合計。

● 大学進学率（学校タイプ） (％)

	30%未満 (進路多様校)	30～50%未満 (中堅校B)	50～70%未満 (中堅校A)	70～90%未満 (進学校B)	90%以上 (進学校A)
高校全体	30.4	13.9	13.6	19.9	22.2
普通科	19.1	13.9	15.5	24.6	26.8

※卒業生の進路について「(4年制大学進学者割合×100)/(100-進路未定・不明者の割合)」で算出した。

● 教職経験年数 (％)

	5年目以下	6～10年目	11～20年目	21～30年目	31年目以上
小学校	22.4	23.9	31.7	12.6	9.4
中学校	24.2	22.8	28.3	13.8	10.8
高校	16.1	18.9	30.9	20.2	13.9

● 担当学年 (％)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	その他
小学校	14.9	15.5	14.7	14.8	16.1	16.4	7.6
中学校	28.9	27.6	29.9				13.6
高校	30.6	33.0	36.4				

※小学校は、各学年の学級担任をしている教員。「その他」は複式学級を担当している教員や学級担任をしていない教員など。
 ※中学校は、各学年の学級担任・副担任をしている教員。「その他」は学級担任・副担任をしていない教員。
 ※高校は、「もっとも多く授業を担当している学年」への回答。

● 担当教科 (％)

	国語	社会	数学	理科	外国語	その他
中学校	16.7	17.1	24.1	18.6	18.8	4.7
高校	17.5	14.1(地理歴史) 6.7(公民)	22.1	17.4	19.0	3.2

※複数の教科を担当している場合は、主なものを回答。

■ データの偏りについて

地域および設置区分に関して、文部科学省「学校基本調査」(小学校・公立、中学校・公立、高校・国公立 <全日制>の本務者、2023年データ)との比較において、おおむねバランスよく回収できている。

■ データに関する留意点

- 「全体」の比率(全体値)は、調査対象(教員)を抽出する際(p.4参照)に対象としていなかった、小学校で学級担任をしていない教員(担当学年を「その他」と回答)、および、中・高校で担当教科が国語、社会(地理歴史、公民)、数学、理科、外国語でない教員(担当教科を「その他」と回答)も含めた総数で割って求めている。
- 本報告書で使用している百分率(%)は、各項目の算出方法に沿って出した値の小数点第2位を四捨五入して表示している。その結果、数値の和が100にならない場合がある。
- 経年比較において、比率に5ポイント以上の差がある場合に赤色の矢印を付けている。
- 「小学校低学年」は小学1～3年生、「小学校高学年」は小学4～6年生の学級担任をしている教員による回答を表している。